

## 第11回活動報告会～武庫川流域圏ネットワーク～

山本義和・上田 宏・小川嘉憲・白神理平（武庫川流域圏ネットワーク）

### はじめに

市民環境団体「武庫川流域圏ネットワーク」では、市民、学生、専門家、行政など幅広い層の協力を得て、日頃の活動紹介の機会を年に1回設けています。

2021年度は12月5日に、阪急電車仁川駅前、さらら仁川ホールにて開催。特別講演と、一般発表が5題、参加者60名で、活発な議論が展開されました。その概要を紹介します。



会場風景 さらら仁川ホール

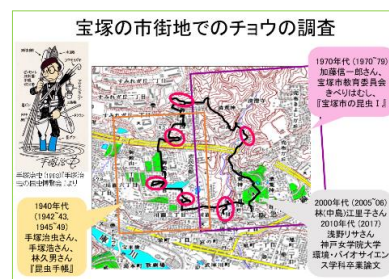
### 特別講演

「昆虫の減少は私たちに何をもちたらずのか ～古くて新しい環境問題」

講師：遠藤知二氏

(神戸女学院大学 名誉教授)

昆虫の減少が地球全般におよんでいること、森林破壊に対し、人新世におけるDefaunation（動物相破壊）という概念の提示、市民の息の長い調査の大切さ、などが緻密なデータと共に紹介された。



特別講演 竹筒トラップと宝塚でのチョウの調査の紹介

### 一般発表

1. 津門川の自然再生に向けた魚類相調査～2021年度結果報告～  
※市民・行政・専門家による活動継続の重要性も提言。

2. 武庫川流域における生物多様性の保全と生態系サービスの活用について  
※オイカワの婚姻色・子どもへの環境教育を意図した研究ほかの紹介。

3. 武庫川の治水対策工事について  
※動画も多用、進捗を明快に提示。汽水域拡大への期待・全面魚道のイメージも紹介。

4. 水辺環境に対する地域住民の行動と価値認識 一宝塚市「丸山湿原群」の調査・分析を中心に～  
※30才～50才世代への啓発が、保全活動の一層の促進に寄与との提言も。

5. 「森里海を結ぶフォーラム in 諫早」の参加報告

※九州の高校生による優れた発表2件に注目。次代を担う若者を育てる大人の使命を痛感との報告。



発表2 オイカワ紹介



発表3：魚道改良のイメージ



発表5 植樹祭ほか



## 結果と考察

特別講演、一般発表、いずれもよく準備された内容であり、発表者に感謝。コロナ以前は、神戸女学院大学の協力を得て、広い会場を借用し、講演方式に加えて、掲示板や展示台を活用した展示発表を実施することができた。毎回10数団体の参加で、展示各団体の3分間自己紹介や、参加者交流タイムも設定でき、活動報告会での大切な企画であった。

今年度も3密回避の要請や会場の制約などから、昨年に続き、展示発表は中止せざるを得なかった。コロナ時代の活動報告会の工夫（参加者・参加団体の交流の機会を充実する）も今後の課題です。

## 発表者のお名前と所属等を記して、謝意を表します。

### 特別講演

「昆虫の減少は私たちに何をもちたらすのか～古くて新しい環境問題～」

遠藤知二（神戸女学院大学 名誉教授）

### 一般発表

#### 1. 津門川の自然再生に向けた魚類相調査～2021年度結果報告～

- 山本義和・栗野光一・古武家善成・白神理平（武庫川流域圏ネットワーク）、  
張野宏也・高橋大輔（神戸女学院大学）、
- 富森祐樹・細谷和海・松沼瑞樹・藤田朝彦（近畿大学）、  
阪本義樹・山本 稔（西宮市役所）、菅澤邦明（西宮共同幼稚園）

#### 2. 武庫川流域における生物多様性の保全と生態系サービスの活用について

高橋大輔（神戸女学院大学 環境・バイオサイエンス学科）

#### 3. 武庫川の治水対策工事について 兵庫県 出前講座

平塚康嗣（阪神南県民センター 武庫川対策室）

#### 4. 水辺環境に対する地域住民の行動と価値認識

一宝塚市「丸山湿原群」の調査・分析を中心に—

長峯純一、○于童童 YU TONGTONG（関西学院大学 総合政策研究科）

#### 5. 「森里海を結ぶフォーラム in 諫早」の参加報告

○山本義和・白神理平（武庫川流域圏ネットワーク）

以上